

# 帯状疱疹:



深刻にとらえるべき病気です。

## リスク:

水痘(水ぼうそう)に罹ったことのある人(米国では成人の90%以上)は、帯状疱疹のリスクがあります。

帯状疱疹は、水痘を起こすウイルスと同じウイルスが原因で起こります。一度水痘に罹ったことのある人では、そのウイルスは何年間もの間、体内の特定の神経の根元で生存しますが、活動はしません。通常かなり後になってからそれが再び活動を始めると、帯状疱疹を起こすのです。帯状疱疹のリスクは、年齢が上がるにつれ高くなります。帯状疱疹は、水痘に罹ったことのある人ならだれにでも、いつであろうと、警告なしに起こる可能性があります。誰が帯状疱疹に罹るのか、いつ起きるのか、というのは分かりません。

## この病気について:

帯状疱疹の最初の徴候は、体で感じる事が多く、目には見えないことがあります。

これらの徴候として、右のようなものがあります: • 痒み • ピリピリ・チクチク感 • 焼けるような痛み  
数日後には、発疹(水疱)が現れます(顔や体の片側に出るのが普通です)。この水疱が治るまで2~4週間かかります。

帯状疱疹は、痛みを伴うことがあり、重い症状を起こすことがあります。

ほとんどの人で、帯状疱疹の発疹の痛みは治癒とともに軽くなります。しかし発疹が治った後でも、人によっては、何ヶ月、また何年にもわたって続く痛みが残る場合があります。この長期にわたる神経の痛みは、帯状疱疹後神経痛(PHN)と呼ばれ、帯状疱疹のウイルスが特定の神経を損傷するために起こります。

痛みは色々です: • 焼けるようなズキズキする痛み • 刺すような電撃痛

長期にわたる神経痛になった人の多くは、柔らかい衣類が皮膚に触れただけでも痛みを感じる場合があります。

これ以外に帯状疱疹が原因で起こる症状として、皮膚の感染症、筋力の低下、瘢痕、視力や聴力の低下や喪失があります。

## 年齢的要因:

年齢が上がるにつれ、帯状疱疹のリスクが高くなります。

これは、若い時のように体が帯状疱疹ウイルスから防御できなくなるからです。

- 米国で毎年百万人近い帯状疱疹患者が発生しますが、その約半数が60歳以上です。
- 85歳まで生存する人の2人に1人は帯状疱疹に罹ります。
- 年齢が上がるにつれ、帯状疱疹の発疹が長引きます。

年齢が上がるにつれ、長期にわたる神経痛のリスクが高くなります。

高齢者では、長期にわたる神経痛が激しくなり、持続期間も長くなります。

## 治療法:

帯状疱疹にかかったと思ったら、ただちに医師や医療専門家に相談し、できるだけ早く治療を始めるようにしてください。

## さらに詳しく知るための最善の方法は:

医師や医療専門家が帯状疱疹に関する質問に答えてくれます。またあなたのリスクが高いかどうかも教えてくれます。



帯状疱疹についての詳しい説明は、[shinglesinfo.com](http://shinglesinfo.com)をご覧ください。

